



発行元 紀南教会
 紀南教会瓦版編集委員
 和歌山県田辺市
 下屋敷町80
 TEL/EAX
 0739-25-1191



私は二才の時受洗しましたが、その時は、新しくされるという復活の希望が大きく、罪の悔い改めが十分ではありませんでした。

証し

「そのとき、弟子たちがイエスのところに来て、『いったいだれが、天の国でいちばん偉いのでしょうか』と尋ねた。そこで、イエスは一人の子供を呼び寄せ、彼らの中に立たせて、言われた。『はっきり言ってお

キリと神様の愛が分かっていたが、その時は、新しくされるという復活の希望が大きく、罪の悔い改めが十分ではありませんでした。

後、自分の罪と向き合う機会を下さいます。クリスチャンの良き先輩との出会いから始まります。当時彼女は、デイリーブレッドという毎日聖書を読む会を開いていました。私はサブという形でお手伝いすることになったのです。求道者の方も数名集まられていて、共に聖書を読み、感じた事や悩んでいる

事話をし、励まし祈るという会でした。私はサブでありながら、殆ど話す事が出来ず、先輩と彼女のやりとりを聞くばかりでした。そんな中、先輩は私の信仰がハッキリしていない事に気づき、まず私自身が神様に祈りの中で正直になるように勧めして下さいました。今迄はなりたいた自分の姿ばかり祈ってきた私にとって一つ一つ自分の正直な気持ち祈る事は不慣れでした。しかし、その言葉をきっかけに神様の前に心を注ぎ出す祈りの時が始まりました。祈りの中で神様は、御言葉の光によって私の罪を一つ一つ指し示しました。自分の罪を打ち消した

思いも出てきました。向き合う事になりました。そう積み重ねていく内に聖霊によって、十字架の贖いがこの罪人の私のためであった事がハッキリ分かりました。その時、神様に赦されて、新しくされる恵みに包まれ、感謝で一杯になった事を思い出します。神様は、あの時も今も変わらず祈りの中で私の思いを聞いて下さっています。嬉しい事も悲しい事も全てご存じの神様の前にあえて心を注いで祈り、み言葉を読み、その声に耳を傾ける時、み言葉が直接励ましと慰めと勇気を下さるのです。私は感謝で一杯になり、涙腺が緩みっぱなしです。神様が、

私と出会って下さらなければ、私は自分が分からず、罪を認められず、偽善に生きていた事でしょう。迷ったままの羊でした。神様と出会って、聖書を読む事が楽しみです。御言葉には魂を救う力があり、祈る時神様が近くで励まして下さるのが分かります。いつも共にいて下さり、従順に従いたいという願いが与えられます。この愛の福音を家族に、知り合いの方に、教会へと神様が寄せて下さった方に、まだ出会うぬどなたかに心からお伝えしたいと願います。『私は確信しています。死も、命も、天使のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、私たちを引き離すことはできないのです。』

☆雑感☆

最近、こんな歌詞のついた歌に出会った。『おやすみなさいと言われ、おやすみなさいと応える。最後に言うなら、こんな言葉が良い。永遠の眠りでも、眠れない夜でも、おやすみなさい。』とても好きな詩です。

に、長年聖書を学んでいる友人に「信じていない人は地獄に落ちるん？」と尋ねられて、何も言えなかったことがあった。その問いに答える資格など自分にあるはずがない。先に逝ってしまった大好きな親友や両親が地獄にいるはずはないと思いたい。自分自身が永遠につながっているドアの向こう側の

人になった時に、全てが分かるのではないかと思っている。そこへ一歩入ったら、イエス様が大きな両手を広げて、私を抱き留めて下さるのでは、とイメージしている。厚かましすぎるかな？早く行ってみたいと思う事もある。

祈っているのは(神様、私もあなたの元へ召された日には、懐かしいみんなに会えますように)ということ。それが、何時、どんな形でやって来るのか神様のみが知る・・・美・笑

親友は、自分なんかよりよっぽどクリスチャンみたいな人だった。職場では、自分の仕事は可能な限り後回しにして、周りの人を心配して助けて回り、よく食べ、バリバリ働くブルドーザーみたいな元気な人だった。最後の言葉を交わす事ができなかった。

『「あなたがたが犯したあらゆる背きを投げ捨てて、新しい心と新しい霊を作り出しなさい。イスラエルの家よ、どうしてあなたたちは死んでよいだろうか。わたしはだれの死をも喜ばない。あなたたちは立ち帰って、生きよ」と主なる神は言われる。』

「紀南キリスト教会 集会案内」
 教会学校・・・(日) 午前10:30
 礼拝・・・(日) 午前10:30
 聖書の学び・・・(月) 午前10:30
 聖書と讃美・・・(火) 午前10:00
 聖書の学び・・・(木) 午前10:00

「あなたたちが犯したあらゆる背きを投げ捨てて、新しい心と新しい霊を作り出しなさい。イスラエルの家よ、どうしてあなたたちは死んでよいだろうか。わたしはだれの死をも喜ばない。あなたたちは立ち帰って、生きよ」と主なる神は言われる。』

※ご相談事がございましたら、牧師まで、ご連絡下さい。

旧約聖書 エゼキエル書 一八章三一、三二節

『天国で一番偉い人』

紀南教会牧師 上山耕司

むかし「末は博士か、大臣か」ということわざがありました。この世で偉い人と聞いて思い浮かべるのはどんな人物でしょうか。

を死した人ということになります。さて、イエスの弟子たちは「天の国」でだれが一番偉いか、とイエスに問うた

ちにイエスは厳しい言葉で「はっきり言っておく。心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天の国に入ることは出来ない。」

偉いということの天の基準は、何かをしたとか、しなかったとかいう「功績」ではなく、その人の心の状態、態度、あり方を言っているのです。自分を低くすること、つまり高慢な心ではなく、へりくだった心の持ち主であることです。へりくだった心の持ち主とは「子供のようになる」人です。本来、私たちは皆神の子供で、神さまがいなければ生きていけない存在なのです。神さまは子供である人間に全ての必要なもの、

空気も水も全ての自然も無償で与えて下さっているのです。にもかかわらず、人間はそのことを知らず、欲望のままに使い、奪い合い、汚し、破壊し、自分で自分の首を絞めているのです。本当に愚かな、無知な、高慢な者です。子供のようになるとは「そのことを謙遜に認め、神を真実の父親として心から信頼する」ことです。これらの真理はイエス・キリストによって初めて分かることです。そのため

幼い子供が親を全面的に信じて頼るように、神を信じる人が天の国に入り、天の国で一番偉いのだ、ということ。イエスは身をもって示されたのです。



野口英世とか二宮金次郎とかシユバイツァー、マザー・テレサでしょうか。ここから推察すると、偉い人というのは社会のため、人類のために素晴らしい「功績」

のです。彼らは自分たちの中で、誰が天の国で一番偉い地位に就けるだろうか、一番多く捨ててきたのは俺だ、などと互いに議論していたのです。そんな弟子た

と、さらに「天の国では、自分を低くして、この子供のようになる人が、一番偉いのだ」と答えられた。これは弟子たちや「この世」の基準とは随分違うよう

この紀南教会瓦版もそれぞれにその時々を思いを綴って、はや40年11年目に入りました。発行が危ぶまれる時もありましたが、支えられここまで来ることが出来ました。

感謝です。次号は五月二十五日発行予定です。

この世に来られたのです。



次号は五月二十五日発行予定です。